

# モチーフの連環

岩田榮吉の世界

The Art of Eikichi Iwata



2026. 4. 11<sup>Sat</sup> ▶ 7. 20<sup>Mon</sup>

【開館時間】 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】 毎週火曜日

【観覧料】 一般 500 円 / 割引 400 円 (65 歳以上、障がい者手帳・三溪園入園券をお持ちの方)

〒231-0822

神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7

TEL:045-629-1150 FAX:045-629-1151

公式HP : <https://www.yh-g.org/>

関連HP : <https://www.iwata-museum.org/>

横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery

## 岩田榮吉の絵画とモチーフ

岩田榮吉の世界—モチーフの連環 展示にあたって

岩田榮吉には、自画像、静物、人形を描いた作品が多い。反対に、自身以外の人物、動植物、生鮮物、写生的な風景を描いた作品はほとんどない。また、作中に登場するモチーフは種類も数もさほど多くはない。厳選したモチーフを考え抜いた末に配置し、シンプルな構図と緻密な描写で、含蓄に富んだしかも押しつけがましさのない絵画世界を表現する。

岩田の自画像は、全身像で背景が描き込まれるものが多い。構成された室内、あるいは心象風景の中において、自らが身を置く環境を表わしている。その「環境」そのものを表すのが、静物画である。一切の無駄なモチーフはなく、ある時ある状況を象徴的に表現する。そして、人形はある「環境」下に、ある気分ある思いを抽出し単純化した自身である。いわば自画像の結晶だが、必ず残る未昇華分の探求には自画像に立ち返らなければならない。

自身と自身をめぐってモチーフは連環する。自身もまた時とともに揺れ動く。今回の展示では、「未完」の作品も何点か含まれる。画家の本意ではないかもしれないが、滞る絵筆にも思索の跡が垣間見え、その取組みに親近の感が増すのではないだろうか。



岩田榮吉 【ベネディクティースの瓶】  
油彩 1964年  
530×652mm

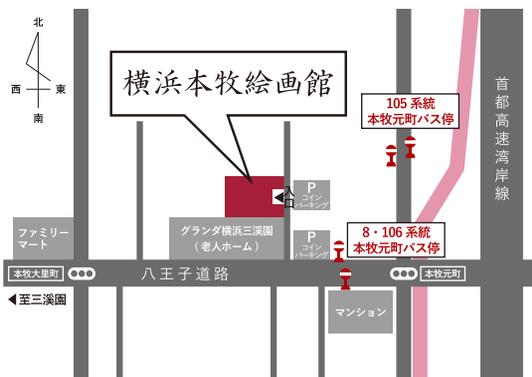
## 横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery

当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

### 岩田榮吉(1929-1982)

当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯パリで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ17世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプレイユ(だまし絵)を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)  
※車いす用の来車スペースが1台分あります。ご利用は事前にご連絡ください。



二次元バーコードにて当館の詳細な情報が見られます

### 公共交通機関からのアクセス

#### 元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車  
所要約30分・徒歩1分

#### 横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、相鉄線、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統  
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車  
所要約40分・徒歩1分

#### 桜木町駅より

(JR京浜東北線、横浜市営地下鉄)

横浜市営バス11番乗場から105・106系統  
又は2番乗り場から8系統  
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

#### 根岸方面より

横浜市営バス58・101系統「和田山口」で下車、  
道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統  
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車  
「和田山口」から所要約10分・徒歩1分